



北 斗 市 ト ラ ピ ス ト 修 道 院

陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島
夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島

文陽渡島

陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島
夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島

NO. 99

平成18年 7 月31日

夕陽会渡島支部
事務局

八雲町・大関小学校



変革をむかえて

夕陽会渡島支部長

藤
枝
勝
雄

今年度の総会で支部長を仰せつかりました。渡島支部は夕陽会の中核支部として、本部と一体となり諸先輩会員が営々として築きあげてきた実績をしっかりと継承しつつ、次に繋ぐことができればよい微力ですが支部役員と一体となって力を尽くしていく所存です。支会・会員の皆様のご支援よろしくお願いいたします。

近年、国・地方を問わず既存の組織はその「しくみ」が大きな変革を見せています。ご存じのように母校函館校も国立大学法人化とともに本年度より大きく変わりました。開学以来、教員養成を目的とした大学として、師範学校・学芸大・教育大と続いてきた「教員養成課程」に代わり、「人間地域科学課程」による一期的入学生を迎えています。時代の要請に合わせた会の在り方も探っていかねばならない時期にきています。

しかし、課程が代わっても母校の根底に息づいている建学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」はこれからも引き継がれ、夕陽会の支えとして生き続けて行くものと思います。

本部方針「創造し行動する夕陽会」を基に、渡島支部でも原点である親睦の和を深めるとともに、教育の振興に寄与することを念頭に、支部と支会の連携強化、会員の資質向上を図る事業推進を進めてまいります。町村合併により各支会の再編が行なわれ、長年続いてきた十六支会体制から十一支会体制になりました。

また、平成二十年は、夕陽会創立九十周年にあたり、大きな節目の年になります。今までの活動の総括とさらなる発展を願い、渡島支部としても大いに協力を行いたいと考えています。

今年度、どうぞよろしく願います。

平成十八年度

夕陽会渡島支部

総会・懇親会盛会裡に終了

夕陽会渡島支部副支部長 関 口 文 雄

昨年度の渡島支部の改編で、本年度より一市九町、五稜支会の十一支会で渡島支部が発足いたしました。去る五月十三日、ホテル法華クラブ函館を会場に

新年度の支部総会・

懇親会・新会員歓迎会が盛大に華やかに開催されました。総会では、川合支部長の挨拶に続き、ご来賓の夕陽会本部会長川島孝夫様より夕陽会や母校の現状や概要についてお話いただきました。続いて、十八年度の事業計画案等の案件について協議しご承認をいただいたあと、役員改選に移り、新しく藤枝勝雄大中山中学校長を選出し、幹事長は竹内良容大関小学校長を



再任し、新体制が始動いたしました。

続いて大懇親会・新役員歓迎会が開かれました。今年は昨年度以上の新会員を迎え、総勢二百名を越える参加

者で盛大に開催いたしました。恒例となつてゐる夕陽賛歌の大合唱とともに祝宴が始まり、澆刺とした新会員から大先輩まで含め、座席を移動しての和やかな交流が始まりました。

その後、新会員の教職に対する熱い決意が述べられた自己紹介や大抽選会で会場は一層の盛り上がりになりました。最後に寮歌の大合唱で盛会のうちに会を開ることができました。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である、親睦の和を深めるとともに、教育の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

- 一、支部・支会の連携強化
 - ① 会員の同窓意識の高揚を図る。
 - ② 会員相互の助け合いを大切にする。
 - ③ 支部と支会、支会相互の連携を密にする。
 - ④ 情報活動を活発化する。
 - 二、会員の資質向上・援助
 - ① 会員相互の研修活動を促進する。
 - ② 人材の発掘と登用を積極的に進める。
 - 三、新会員（新採用者・渡島管内勤務初経験者）への援助・啓蒙に努める。
 - ④ 退職会員への感謝と激励に努める。
 - 三、本部及び他支部との連携
 - ① 本部との連携を深め、会の一層の充実・発展を図る。
 - ② 本部事業への積極的な協力を行う。
 - ③ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
 - ④ 本部からの支援を積極的に求める。
- 事業推進方針 ●
- 一、支会訪問
 - ① 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
 - ② 会費完納会員には、記念品を贈る。
 - 二、情報・資料の提供
 - ① 各支会及び他支部との情報交換に努める。
 - ② 本部との情報交換に努める。
 - 三、『夕陽渡島』の発行
 - ① 『夕陽渡島』を発行し、会員の交流を図る。
 - 四、研修事業
 - ① 新採用者などに、教育に携わる者としての意識の高揚を図る。
 - ② 研修情報の収集や研修資料の作成・提供を図る。
 - ③ 会員各自の研修促進と研究実践者への積極的な支援を図る。
 - 五、退職会員との連携
 - ① 勇退者への感謝と激励の会を開催する。
 - ② 「渡島支部終身会員」への積極的な勧誘を推進する。
 - ③ 退職者の業績を記録した『勇退者の横顔と足跡』を発行する。
 - ④ 退職者へ記念品を贈る。
 - 六、本部事業への協力参加
 - ① 本部主催の各種事業へ積極的な協力と参加を推進する。
 - ② 「本部前納会員」への積極的な勧誘を推進する。
 - 七、関係機関との連携
 - ① 各種機関との連携を強化して、事業を推進する。
 - 八、その他
 - ① 教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ、祝詞等を贈る。
 - ② 慶弔規定に基づいて、迅速に対応する。

支会だより

豊かな地域文化の

創造を目指して



松前支会長
(原口小学校)

小林 基 英

松前町は渡島半島の最南端に位置し、西は日本海、南は津軽海峡に面した自然豊かな町です。白神岬の絶景、折戸浜・小浜の海岸景勝など、海岸線は変化に富んだ景観を有しています。オオミズナギドリ繁殖地として知られる渡島大島・ケイマフリなどの繁殖地である松前小島とともに、松前・矢越道立自然公園に指定されています。気候は対馬海流の影響を受けて、年間の平均気温は高く、寒暖差も少ない温暖な気候で恵まれた気象条件といえるでしょう。また、二百五十種一万本に及ぶ桜は、松前城とともに松前を語る代名詞になっています。

今年は、現在の場所に城を築いてから四百年目の記念すべき年にあたります。五月十三日、松前城観濤台において「松前城築城四百年記念式典」が開催されました。本町は、松前城築

城四百年のこの年を「協働のまちづくり元年」と位置づけ、町民と行政が一体となって力強く歩み出しています。

学校教育では、当町にふさわしい豊かな地域文化の創造を目指しています。教育及び文化・スポーツなどを通して、学校教育と社会教育の連携を密にし、学校・家庭・地域と教育委員会が手を携え、優れた自然、歴史、文化等の特色を生かした教育の推進を基本にすすめています。

本支会会員は、それらを推進する中心的な存在となっています。松前中学校七名、大島中学校四名、白神小学校三名、松前小学校五名、松城小学校七名、小島小学校六名、大島小学校二名、原口小学校五名の現職会員三十九名と町内在住会員が協働し、地域や子どもの実態に応じて、創意工夫を凝らし、主体的に、積極的に新たな学校づくりに取り組んでいます。

来る七月四日には、本支会の平成十八年度総会・懇親会を予定しています。改めて夕陽会員の絆をよりいっそう深めていきたいと考えています。

支会だより

知内フロンティア

八百年を契機に



知内支会長
(知内中学校)

前田 治 彦

雷公神社に伝わる「大野土佐日記」によると「元久二（一二〇五）年、鎌倉幕府の命により甲斐の国いはら郡領主・荒木大が砂金採りのために涌元浜へ上陸し、居城を築いた」といわれています。その説に基づき知内町は、昨年「知内フロンティア八百年」として多様の記念事業を行ってきました。

この八百年もの間に、知内の風土や文化は、形を少しずつ変えながらも受け継がれてきましたが、その伝承に少なくとも関わってきた者に教師がいたはずで、これまでに多くの教師を輩出してきた母校は、その意味でも重要な役割を果たしてきたといえますし、その同窓である私たちは、その誇りと責任を改めて自覚しております。

我が町では町立の幼稚園から高等学校まで、今や三十年を越す歴史を積み重ねていること

で、幼児教育から高等教育までを地元の学校園で行い、子どもを健やかに育てようという一貫教育を進めています。

今年度の本支会の会員は、転出九名、転入七名だったことから、育児休業や臨採を含めた現職会員二十九名に加え、退職・終身会員六名の計三十五名でスタートしました。松本教育長の下、町教委事務局の会員二名と知内小九名、中の川小三名、湯ノ里小五名、涌元小三名、知内高二名、知内中六名、そして知内幼一名という終身会員を含めた学校園で気持ち新たに教育に取り組み始めたところです。

六月九日(金)には、本部より川島孝夫会長をお迎えし、支会総会と歓迎懇親会を開催することができました。同窓意識を高め、会員相互の研修や親睦を図ることを中心に今年度も活動を推進することを確認し、お陰様で、盛会裡の内に懇親会まで終えることができました。

母校の形態が変わろうとも、夕陽会員として、未来を担う人間とかわる活動ができることに改めて喜びを感じています。

平成18年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	小 林 基 英	原 口 小	稲 岡 敬 人	原 口 小
福 島	湊 弘 二	白 符 小	鷺 田 里 方 子	白 符 小
知 内	前 田 治 彦	知 内 中	松 岡 利 夫	知 内 中
木古内	山 形 英 幸	木 古 内 中	林 敏 雄	木 古 内 中
北斗市	柏 崎 誠	谷 川 小	宇佐美 雅 司	谷 川 小
七 飯	田 鎖 正 志	東 大 沼 小	岩 間 唯 史	東 大 沼 小
鹿 部	加 藤 俊 一	鹿 部 中	下 田 豊	鹿 部 小
森	堀 口 一 騨	尾 白 内 小	鈴 木 敏 文	尾 白 内 小
八 雲	宇 野 正 英	落 部 小	木 村 孝	落 部 小
長万部	阿 部 武 夫	国 縫 小	新 谷 公 康	国 縫 小
五 稜	大 堂 讓	渡島教育局	小笠原 学	渡島教育局

平成18年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧問	半 田 愼	終身会員
	田 中 邦 夫	終身会員
	森 下 英 治	終身会員
	佐 藤 勝 博	終身会員
	恒 吉 重 正	終身会員
	天 野 哲 征	終身会員
	川 井 正 芳	終身会員
支部長	酒 井 充 雄	上 磯 中
副支部長	藤 枝 勝 雄	大 中 山 中
	関 口 文 雄	福 島 小
監 査	安 藤 信 男	上 磯 小
	中 山 修 一	軍 川 小
幹 事 長	市 川 秀 一	長 万 部 小
副幹事長	竹 内 良 容	大 関 小
会計幹事	細 川 敬 太 郎	石 別 小
庶務幹事	佐 藤 幸 男	萩 野 小
	高 橋 伸 夫	松 城 小
広報幹事	小野寺 徹	藤 城 小
	木 村 孝	落 部 小

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒049-3121

八雲町上八雲296-1

大関小学校内

竹 内 良 容

電話 0137-62-3663

FAX 0137-62-4496

平成18年度会務報告(中間)

4月1日

採用校長、昇任教頭等祝
詞発送

6月1日

佐藤修治先生(大野小)
ご尊父様ご逝去：弔電

3日

支部別会員名簿確認のお
願い発送(各支会に)
各支会に夕陽会名簿にか
かわる調査のお願い

9日

10日

総会・懇親会案内状発送
渡島支部役員会(大中山
中学校)

25日

八雲支会総会・懇親会
(八雲ローヤルホテル
川島会長、川合支部長)

28日

第四回本部役員会(フィッ
トネスホテル330 函館 竹
内幹事長)

5月13日

平成18年度渡島支部総
会・新会員歓迎会・大懇
親会(ホテル法華クラブ
函館)

17日

夕陽会本部総会・懇親会
(函館国際ホテル)

19日

五稜支会総会・懇親会
(ナイトイントピック)

7月3日

渡島支部第一回役員会
(大中山中)

30日

七飯支会総会・懇親会
(かみむら 須藤幹事長、
藤枝支部長)

4日

松前支会総会・懇親会
(旅館よこはま荘 花田
庶務部長、関口副支部長)

31日

北斗支会総会・懇親会
(スパビーチ 川島会長、
安藤副支部長)

10日

福島支会総会・懇親会
(福寿司 関口副支部長)

22日

第一回支会長・幹事長会
議

印刷/株島本印刷